

湖山循環バス実証運行 中間とりまとめ

1. 湖山循環バス運行の経緯

- ・湖山地区において、東西の路線バスは比較的多くの便が運行されているが、南北（湖山街道⇒布勢、桂見方面）は公共交通のサービス水準が極めて低い。
- ・サービス水準の低い湖山町南3、布勢、桂見方面の人口は比較的多く、高齢化率も高い地区である。また、沿線地域の人口が約13,000人と多く、利用が見込めると想定。
- ・湖山周辺地区の人の通院や買い物先は、湖山街道沿いの施設が多く、車を持たない布勢、桂見等の方々は移動に不便を強いられている。（平成20年度実施のアンケートより）
- ・地元やアンケート調査による要望では、「自分で自動車を運転できない高齢者の方から、「居住地域で公共交通、銀行、病院等の主要施設を日常的に利用するのにも苦労する」という意見が多くある。



住民のニーズと路線バスの運行実態がずれているのではないかという仮説に基づき、布勢・桂見周辺の公共交通空白地域に、潜在需要を喚起すること目的とした循環バスを運行

【湖山循環バスの実証運行実施方針】

- ・湖山周辺地域の公共交通不便地域を解消するために、路線バスの運行が極めて少ない湖山駅・湖山街道沿いの施設と布勢・桂見方面を結ぶ路線で実証運行を行うこととする。
- ・主に、通院や買い物に不自由を感じている方の利便性向上を目的とする。

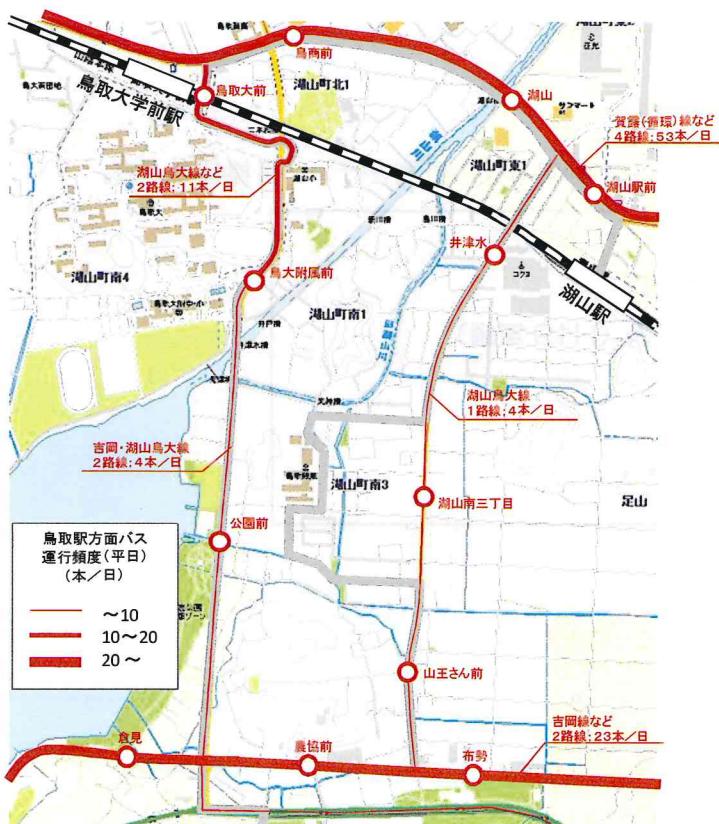


図 鳥取駅方面（上り）行のバス運行状況（現況：平日）

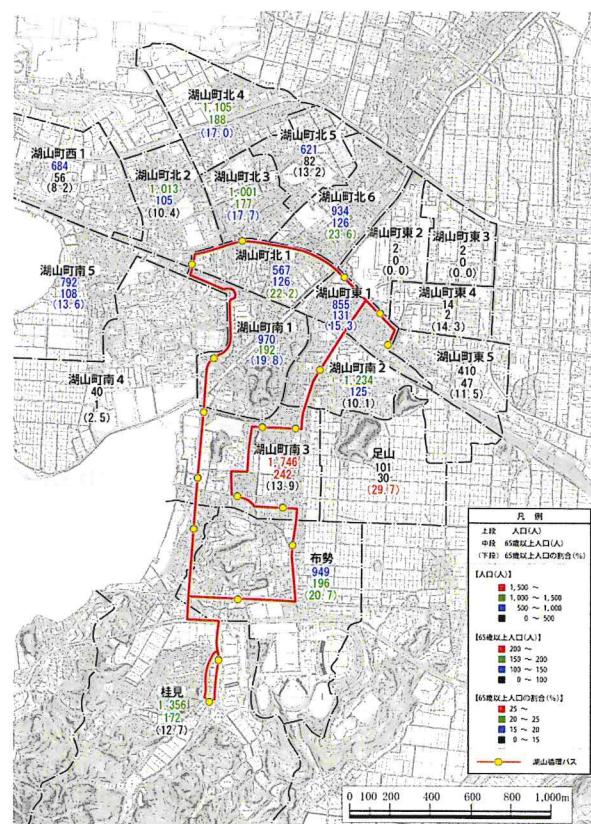


図 湖山周辺地区の人口分布

2. 平成 21 年度実証運行

(1) 運行の内容決定の考え方

①ルート

自動車を利用できない方を想定し、下記を満たす条件で設定。

- 1) 交通不便地域の解消
- 2) JR 駅との接続
- 3) 主要な施設、病院、スーパー、金融機関を循環
- 4) 布勢運動公園へのアクセス

②ダイヤ

通院や買い物の利便性向上を主な目的としているため、日中の運行を多くし、下記の時間帯で運行。

(平日) 午前 8 時～午後 6 時 45 分までを 40 分間隔
で 16 便/日運行

(休日) 午前 8 時 35 分～午後 6 時 45 分までを 40
分間隔で 15 便/日運行

なお、実証運行では、時間帯別の利用状況を把握し、運行内容の改善への活用を想定し、高頻度の運行を行った。

③料金

利便性や採算性を考慮したうえで、気軽に利用できるようにできる限り低価で、きりの良い料金を下記のとおり設定。

(運賃) 中学生以上 150 円、小学生 100 円、小学生未満 50 円

※その他、障がい者の方の割引等あり

(2) 利用者数の目標設定

くる梨の沿線人口・利用者数をもとに、湖山循環バスの利用者数の予測を行い、目標値を設定。

◆くる梨

- ・沿線人口：33,322 人（概数）
- ・1 便あたり利用者数：11.6 人（H19 実績）

◆湖山循環バス

- ・沿線人口：13,375 人
- ・1 便あたり利用者数：約 4.7 人



図 湖山循環バス運行ルート（開始時）

(3) ルートの変更について

- ・地元の意見や、運行後に実施した住民アンケート調査及び利用者アンケート調査より、高江町方面に運行してほしいという要望があった。
- ・また、東桂見での時間調整のための停車に対する不満も出ていた。



- ・高江町方面の経由により時間調整も不要となり、ダイヤの修正もなく運行することが可能であるため、平成 22 年 2 月から、高江町方面を経由しての運行とした。

(4) 実証運行の結果（平成 21 年度）

① 利用状況

- ・平成 21 年 10 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日の延べ利用者数は 5,178 人で、一日平均では 28.8 人/日（1 便あたり 1.8 人）であった。最も多い日で、イベント開催時の 125 人/日が利用。

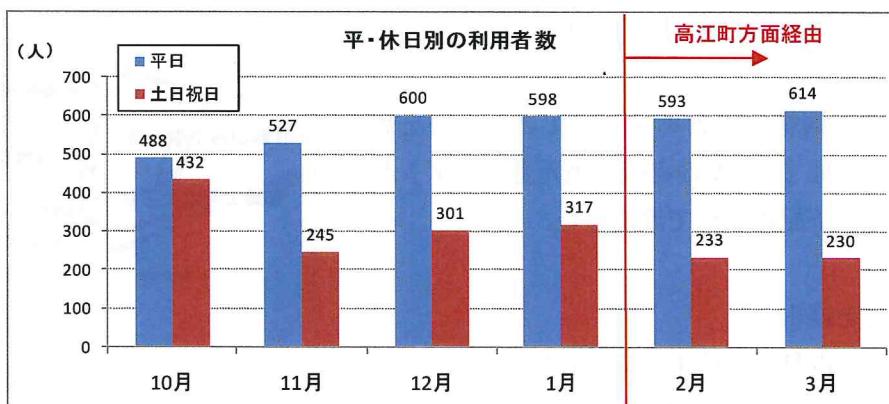


図 平休別の利用者数 (H21. 10. 1～H22. 3. 31)

② アンケート結果 (H21. 11 下旬～12 上旬実施)

- ・利用したことがある人は約 15% と多いとは言えない。
- ・利用者は湖山街道沿いの店舗や病院への利用が多い。
- ・利用者の約 26% が「外出機会が増えた」と回答。
- ・「今後も利用したい」という方が約 75%、「運行内容が改善されれば利用したい」という方は約 18%。
- ・「今の運行内容で継続して運行すべきだと思う」が約 31%、「運行内容を改善して運行すべきだと思う」が約 54% と多くの人が継続運行を希望。

③ 評価

- 公共交通空白地域での循環バス運行で、新たな需要が確保できた。
- 外出機会の創出にも一定の効果を發揮している。
- ただし、利用者数は十分ではなく、利用促進が喫緊の課題である。
- 継続運行を望んでいる声が多く、運行内容の改善により利用者増を図り、本格運行を目指す。

④ 課題

- ・平均乗車人数が 1.8 人/便と少なく、また数回にわたる地元協議での要望・意見交換により、運行内容の改善による利用促進と本格運行に向けて運行を継続させる仕組みの確立が課題である。

3. 平成 22 年度実証運行

(1) 実証運行を継続する理由

- ・平成 21 年度実績では、平均乗車人数 28 人/日であり当初目標に届いていないが、『公共交通が不便なために生活に支障をきたしたり、我慢している活動がある人の減少』という目標を達成するために適切な事業であり、アンケート調査結果からも一定の効果が現れているものと判断した。
- ・また、平成 21 年度は実証運行として、利用実績や住民意見をとりまとめ、必要とされる運行ルートや目的毎の利用時間帯を明らかにしており、より効果的に多くの住民に利用してもらうために運行内容改善の検討を進めることで、本格運行に向けて運行ルート、便数を見直すことを予定している。
- ・さらに、運行内容変更以外の新たな利用促進策についての検討も進めているところである。



・これらより、本格運行に向けての利用者増を目指すため、実証運行を継続実施した。

(2) 運行の内容決定の考え方（6月 1 日以降）

①ルート

基本は開始時と同様に自動車を利用できない方を想定した運行だが、平成 21 年度の実績や地元意見、アンケート結果を踏まえ、下記の条件で設定した。

- 1) 往復運行
- 2) 尾崎病院を経由
- 3) 布勢（石井内科前に停車してほしい）
- 4) 南団地内は走行しないでほしい
- 5) 湖山池沿いの県道は走行しない

②ダイヤ

開始時と同様、通院や買い物の利便性向上を主な目的としているため、日中の運行を多くし、下記の時間帯で運行。

（平日）午前 8 時 58 分～午後 6 時 1 分までを 60 分間隔で 10 便/日運行

（休日）午前 8 時 58 分～午後 2 時 58 分までを 60 分間隔で 7 便/日運行

③料金

アンケート結果からは料金は適切という意見が多かつたため、変更しない。



図 湖山循環バス運行ルート（平成 22 年度）

(2) 利用促進策の実施

「湖山ファミリー割引」

<概要>・土日祝日に限り、大人と同乗の子供（小学生以下）は2人まで無料とする。

<ねらい>・湖山循環バスに乗ったことがない人にも、一度体験してもらう。

- ・休日の利用者増加を目指す。

- ・特に「とっとり出会いの森」への利用者増を見込んでいる。

<実施期間>・7月中旬～9月30日

<適用日時>・土、日曜日、祝祭日の全便

- ・夏休み期間（7月19日～8月31日）も適用

<利用方法>・降車時に運転手に「家族割引です」と告げる。

- ・ただし、大人と子供の利用区間が異なる場合は適用不可。

<その他>・回数券、身体障がい者手帳提示による割引等との併用も可。

(3) 本格運行のための目標

実証運行開始時と同様に、利用者目標は1便あたり5人とする。（5人で収支比率25%以上）

ただし、5人/便に達しないものの、平成21年度実績の1.8人/便から大幅な増加がみられた場合、暫定的に継続運行することとする。

表 本格運行の判断基準

1便あたり 平均乗車人数	収支比率	今後の 方向性	内容
5人以上	25%超	継続	収支率が25%以上であり、継続運行する。
5人未満	20%超	暫定継続	目標である5人/便には届いていないが、収支率が20%を超えており、利用者も増加傾向にあるため、暫定で3ヶ月継続とする。 ただし、最終的に目標の5人/便に達しない場合は運行終了。
	20%未満	運行終了	収支率が20%に満たないため、運行終了とする。

(4) 実証運行の結果（平成22年度）

① 利用状況

・往復運行開始後の6月には利用者が増加傾向にあったが、7、8月は微減の傾向であり、目標の5人/便には届いていない。

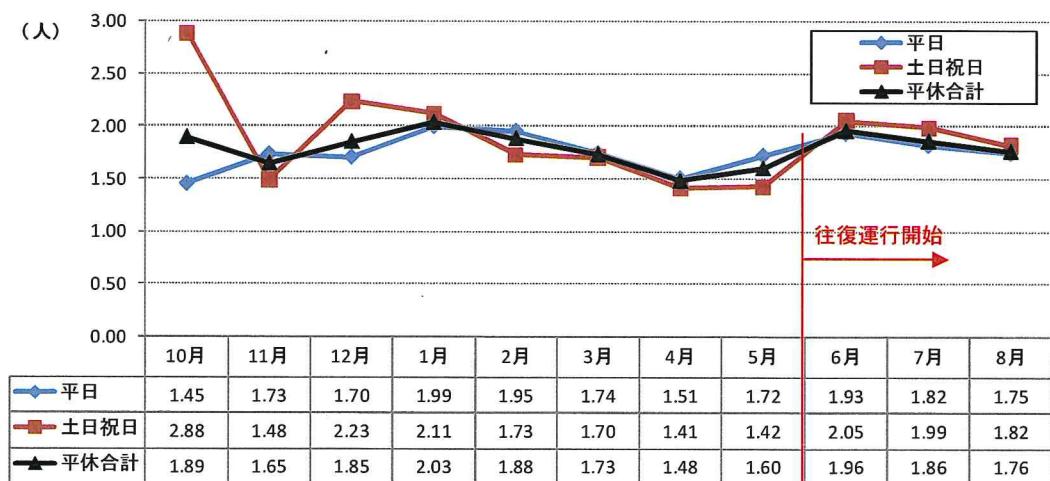


図 平休別の1便あたり利用者数（H21.10.1～H22.8.22）

②アンケート結果（H22.8 上旬実施）

- ・利用したことがある人は約30%と、前回からは増加しているが十分ではない。
- ・利用者は湖山街道沿いの店舗や病院への利用が多いが、ルート追加した尾崎病院の利用が少ない。
- ・湖山循環バスを利用しない主な理由は「自動車や自転車など他の移動手段があるから」と回答した方が大半を占める。
- ・「今後も利用したい」という方が約57%で、「運行内容が改善されれば利用したい」という方が約18%。利用したいという回答が前回からやや減少している。
- ・実証運行後、「今のサービスレベルを保って運行してほしい」と回答した方は29%、「サービスレベルを下げても運行してほしい」という方は38%を占める。その反面、「本格運行する必要はない」と回答した人も33%を占める。

③評価

- 大幅なルート変更も行い、利用者数も増加傾向にあるが、十分な利用者数を確保できていない。
- 公共交通空白地域での循環バス運行で、新たな需要を確保し、外出機会の創出にも一定の効果を発揮しているが、他の移動手段からバスへの大規模な転換にまでは至っていない。
- 「湖山ファミリー割引」も大きな効果を発揮できなかった。

④課題・反省

- ・湖山循環バスの継続に関するアナウンス（利用状況及び継続条件等）は自治会を経由して実施していたが、十分な反応を得られなかった。
- ・時間的な制約もあり、沿線の商業施設等と協働した利用促進策を実施できなかった。買い物時のサービスを付与した促進策は効果が大きいものと想定される。
- ・住民意見等を考慮し、ルート変更を行ったが、一周の所要時間が長くなったことを敬遠する方もおり、十分な利用者を得ることができなかつた一因であると考えられる。

4. 平成 22 年 10 月 1 日以降について

(1) 10 月 1 日以降の運行について

- ・継続運行を望んでいる声も多いが、利用状況へ反映されておらず、目標の 5 人/便には届いていない。
- ・また、収支率も 20% に達しておらず、本格運行への移行は困難である状況である。

(2) 実証運行成果の活用

<反省を活かすための具体策>

- ・今後、他地域における実証運行については、自治会経由でのアナウンスのみでなく、利用促進策や運行内容検討の際も、地区代表等を交えて議論する。
- ・ルート検討の際は、所要時間についても地域のニーズ（短時間で気軽に乗りたい、多少時間がかかるても目的地まで行きたい等）も十分検討する。

<当地域で再編案を実施する際に必要な準備>

- ・当地域におけるバス路線再編検討では、実証運行に関わる検討結果を、バス路線及び住民ニーズの現況把握、課題の抽出等に反映する。特に、鳥取市中心部方面や北ジャスコ方面への要望が強い、通勤・通学に使えるバスがほしい等、吉岡線・賀露線・JR 等との連絡を考慮したうえでの検討を実施する。

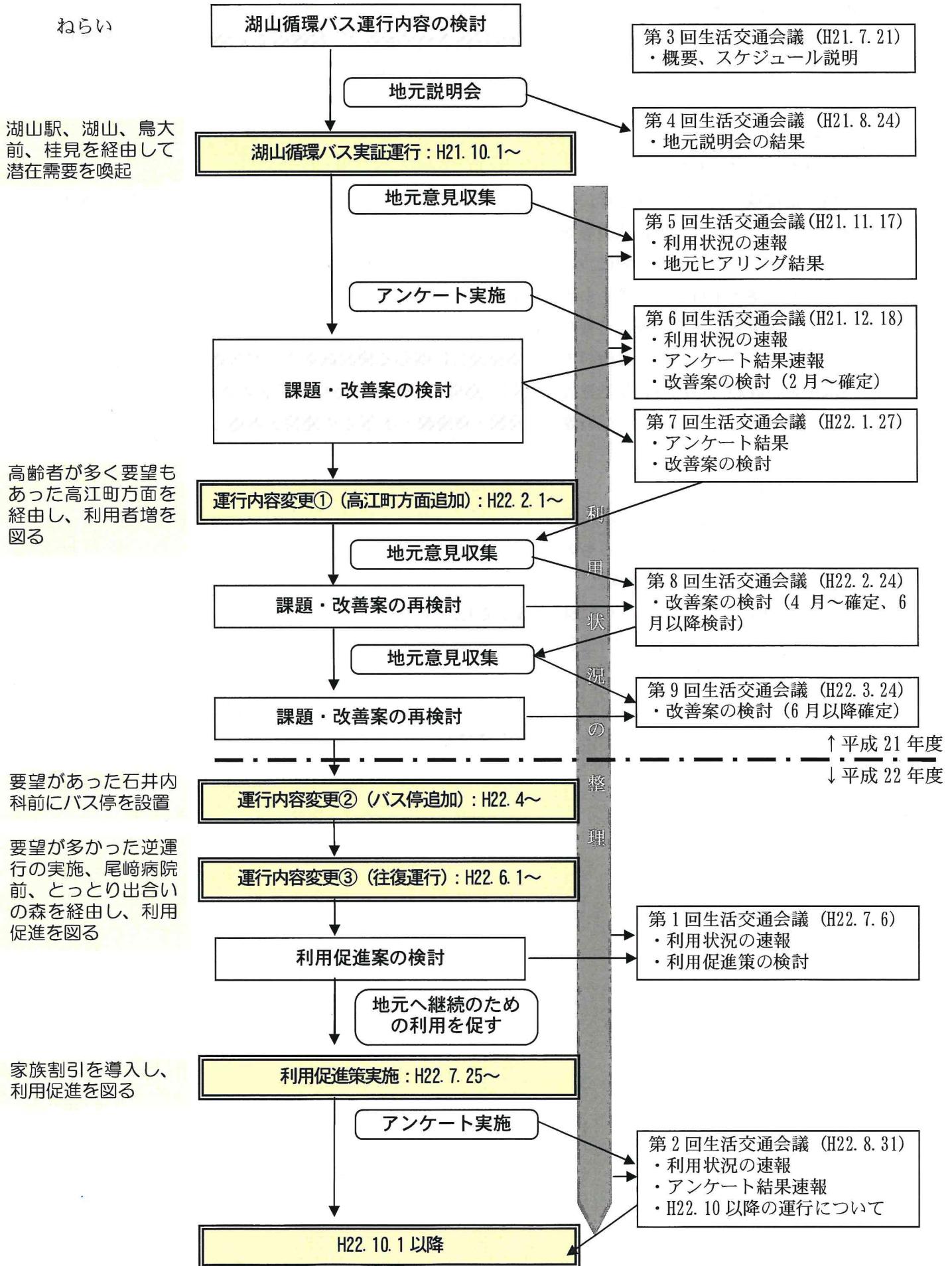
<他地域への展開>

- ・その他、2 度の実施で 1,000 部近い回収を得たアンケート結果から、公共交通の利用促進やルート検討等で、他地域で活用できるものは十分に活かす。

(例) • 乗り降りがしやすい車両に

- ・終発を遅くしてほしい（便数は少なくとも）
- ・タクシーをうまく活用すれば
- ・スーパー、病院に停車してほしい
- ・フリー乗降にしてほしい
- ・JR との連絡情報をわかりやすく明示してほしい

<検討・運行内容変更等の経緯>



湖山循環バス実証運行第2回アンケート調査結果について【速報版】

①アンケートの概要

- ・運行開始後から運行内容変更を経ての利用実態及び意識について把握するため、アンケート調査を実施した。

	沿線世帯アンケート	利用者アンケート
実施年月	2010/7/28～2010/8/13	2010/7/28～2010/8/13
配布方法	自治会経由での配布	車内据え置き
回収方法	郵送回収	郵送回収
地域	沿線地域	—
配布	1,258部	—
回収	292部	2部
回収率	23.2%	—

②アンケートの結果（～8.18回収分まで：280部回収時）

1) 利用経験

- ・利用状況では約3割の方が利用したことがあると回答。（昨年12月のアンケートでは15%）
- ・そのうち、実証運行開始時の利用が最も多く、運行内容の変更ごとに減少傾向にある。

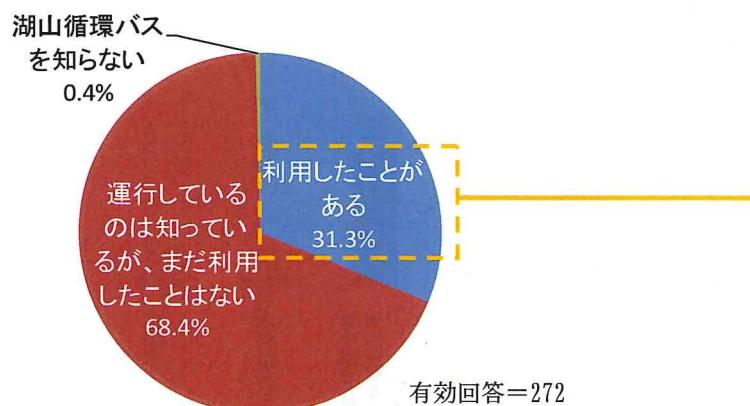
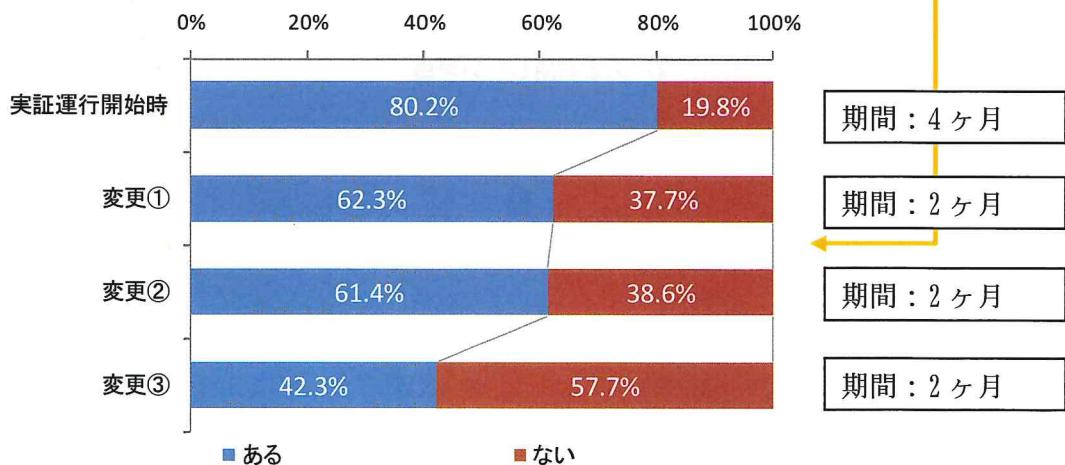


図 湖山循環バスを利用したことがあるか



有効回答；実証運行開始時=81、変更①=69、変更②=70、変更③=71

図 湖山循環バスを利用したことがあるか

2) 利用状況の変化理由

- 利用機会が減少した理由としては「バス停が遠くなったから」が最も多い。湖山池沿いの経路が無くなつたことが影響していると考えられる。
- 増加理由としては「バス停が近くにできたから」「目的地へ行きやすくなつたから」が多い。

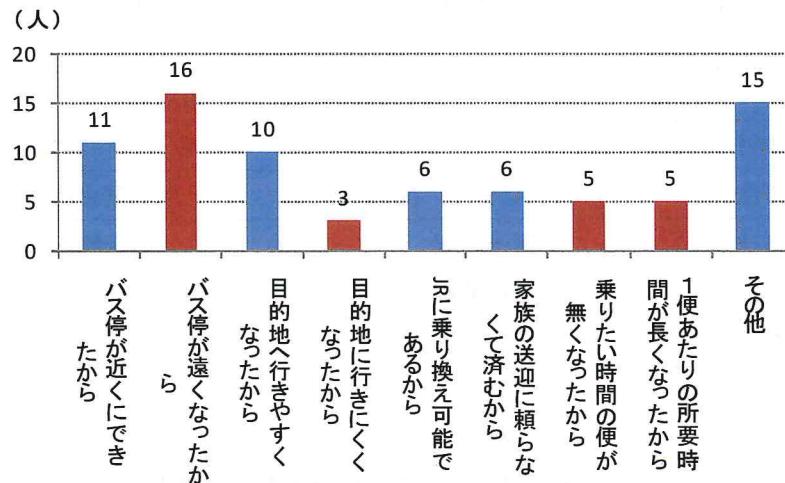


図 湖山循環バスの利用頻度

3) 利用しない理由（利用したことが無い人に対して）

- 湖山循環バスを利用しない主な理由は「自動車や自転車など他の移動手段があるから」と回答した方が大半を占める。

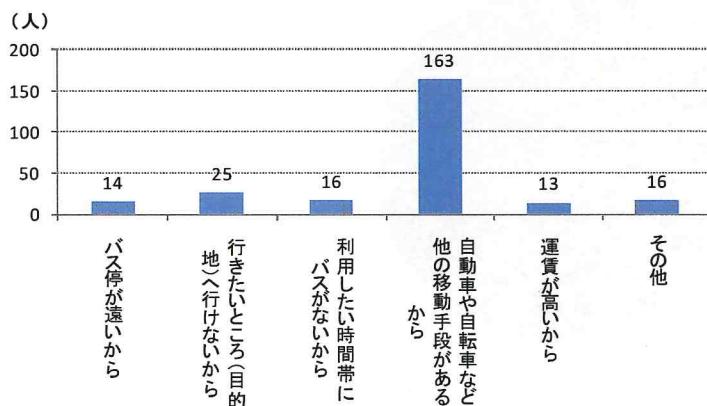


図 湖山循環バスを利用しない理由

望ましいバス停の位置等	(人)
桂見台	4
南団地内	2

利用したい時間帯等	(人)
7時台	4
19時台	1
30分間隔で運行	1
休日夕方	1
始発を早く	1

運行してほしい地区等	(人)
鳥取駅方面	8
北ジャスコ方面	2
里仁方面	1

望ましい運賃等	(人)
100円	5
50円	1
無料	1

その他理由	(人)
時間がかかる	4
ルートが分かりづらい	1

4) 今後の利用意思

<利用したことがある人>

- ・57%が、今後も湖山循環バスを「利用したい」と回答。
- ・「運行内容が改善されれば利用したい」と回答した方が 29%。

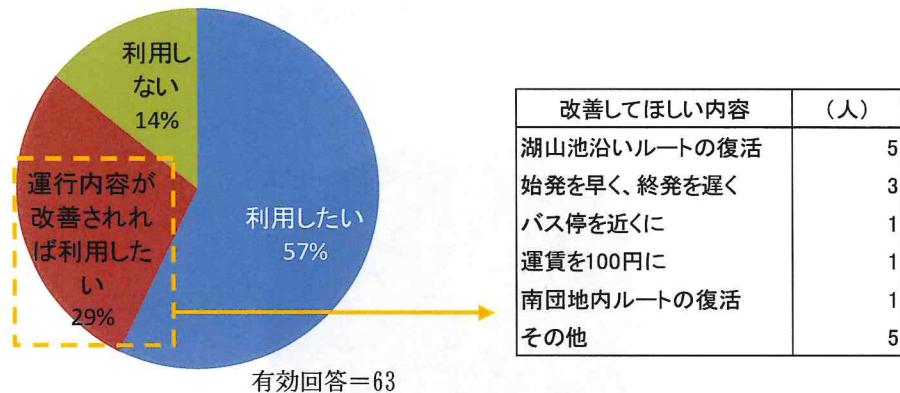


図 今後も湖山循環バスを利用したいと思うか（利用したことがある人）

<利用したことがない人>

- ・35%の方が、今後「利用したい」と回答。
- ・「運行内容が改善されれば(上記利用しない理由が解決すれば)利用したい」と回答した方が 24%。

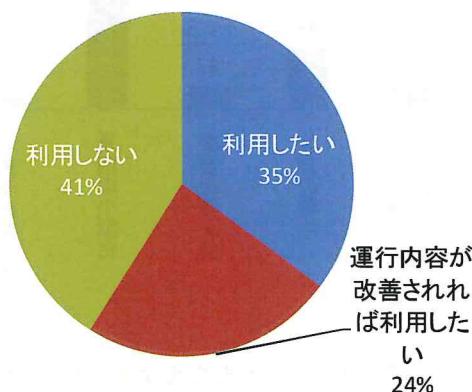


図 今後、湖山循環バスを利用したいと思うか（利用したことがない人）

5) 湖山循環バスの今後について

- ・実証運行後、「今のサービスレベルを保って運行してほしい」と回答した方は 29%、「サービスレベルを下げても運行してほしい」という方は 38% を占める。
- ・反面、「本格運行する必要はない」と回答した人も 33% を占める。
- ・本格運行のためにやむを得ないと思う代替案では、「車両の小型化」と回答した方が最も多い。
- ・「運行本数の減少」「休日の運休」と回答した方も比較的多い。

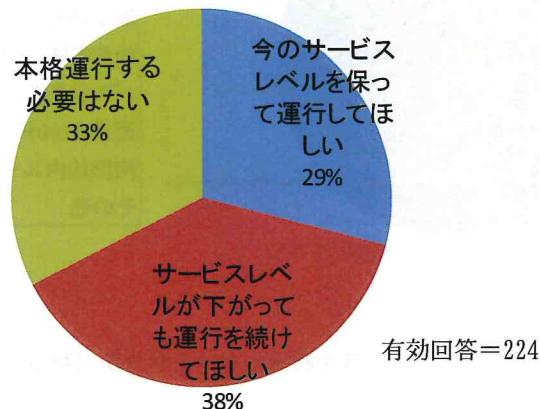


図 実証運行終了後、本格運行してほしいか

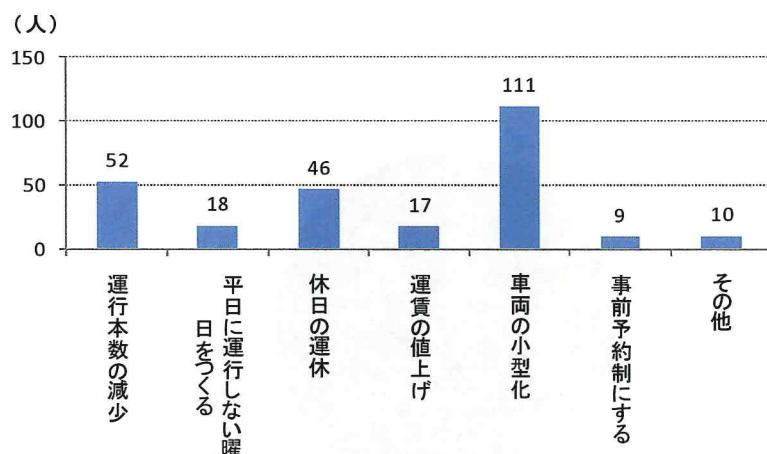


図 本格運行のためにやむをえないと思う代替案